

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ピソッリーノ	公表日	2025年2月14日	回収数	19 (86.4%)					
利用児童数	25人 (保護者数22人)	ご意見	わからぬ	いいえ	どちらともいえない	はい	どちらともいえない	いいえ	わからぬ	ご意見を踏まえた対応
1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	4							・子ども達の活動スペースは、身体をこまめに広げたり、また季節に合わせて行楽園、遊園地もたくさんあるので、季節に合わせても楽しめると思います。また、自分で遊ぶこともできるので、子ども達の成長にも良いと思います。また、活動の内容にも配慮し、季節によって変わっていきます。
2	職員の数などは適切であると思いますか。	18	1							・職員の数については、保育で定められた基準以上の職員数を確保しています。今後、年齢や発達などに応じて、必要に応じて増やしていきます。
3	生活空間は、子どもにわかりやすく構成化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	5							・バリアフリー化については、施設の構造上、みだりに変更はできませんが、今後の努力目標としていきたいと思っております。 ・情報伝達については、安全確認がはかばかしくありません。また、設備についても、安全確認がはかばかしくありません。また、設備についても、安全確認がはかばかしくありません。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	1							・清潔感を心がけ、安全に安心して利用できるように配慮しています。
5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に配慮した専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	2							・発達障害の子どもの状態は日々変わっていきます。また、子どもの様子や状況によって、支援の方法も変わっていきます。また、支援の方法も変わっていきます。
6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	2							・公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思います。
7	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に配慮した専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1							・子どものことをよく考えていくことが大切です。また、子どものことをよく考えていくことが大切です。
8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1							・放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います。
9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	1							・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思います。
10	事業所の活動プログラムが個性化されていないように工夫されていると思いますか。	18	1							・事業所の活動プログラムは、個性化されていると思います。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	10	3						・放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があります。
12	事業所を利用する際に、運営情報、支援プログラム、利用書責等について丁寧な説明がありましたか。	19								・事業所を利用する際に、運営情報、支援プログラム、利用書責等について丁寧な説明がありました。
13	「放課後等デイサービス計画」をしながら、支援内容の説明がなされましたか。	19								・「放課後等デイサービス計画」をしながら、支援内容の説明がなされました。
14	事業所では、家族に対して支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	2							・事業所では、家族に対して支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています。
15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	18	1							・日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができています。
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	1	1						・定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われています。
17	事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	18	1							・事業所の職員から共感的に支援がされていると思います。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	8	4						・保護者会や子ども会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされています。

保護者等からの事業所評価の集計結果

19	ごどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとととに、ごどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	2				いつでもどちらとも思っていないです。	
20	ごどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	1					
21	定期的に通達やホームページ・SNS等で、活動履歴や書き延、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をごどもや保護者に対して発信されていますか。	11	7	1			・行き先は、活動履歴や書き延の情報のみでは伝えているところですが、ホームページの掲載はできています。この際も速く定まらずには音聲にてごご利用者様等に届かせていただき、ご返信がなければいつでもお問い合わせいたします。	
22	個人情報取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19						
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	1	1			・業務する日に訓練実施があると思わないので毎月1でも1人1回は実施しておける状態にあります。	
24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	1	1			・各マニュアルについてはご利用開始時に説明し、常時業務にて確認できるように整備しております。 ・訓練実施については、定期的に消防に要請して取り組んでいます。なるべく多くが関係者へ連絡が動いている状態、安心して通所している状態を心がけています。	
25	事業所より、ごどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で交換が行われていると思いますか。	17	2					
26	事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や報告が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1					
27	ごどもは安心感をもって通所していますか。	18	1				・体面したいと思うこともありますが、連絡すると状況が別に応じてくれ、行くことができます。楽しくさせてもらっています。 ・いつでもおなかどうですか。楽しくさせてもらっています。	・お言葉ですが、楽しんで活動するということが一番大切なことだと考えております。当分はなお、嫌いなものも食べてくれる子どもさまについても、まずは事業所に楽しみがみられてきたらいいかなと、おなかどうが気になります。楽しんで活動してほしいと、毎日たくさんのお話を伺っています。楽しんで活動してほしいと、毎日たくさんのお話を伺っています。楽しんで活動してほしいと、毎日たくさんのお話を伺っています。楽しんで活動してほしいと、毎日たくさんのお話を伺っています。
28	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	18	1				・とても楽しんでいます。 ・日々の楽しみや思い出からとても楽しみにしています。 ・いつかおしゃべりしたいなと思っており、おしゃべりができるようになりたいです。おしゃべりができるようになりたいです。	・スタッフとの関係が大切だと考えています。 ・ご家庭との関係は一部大事なことだと考えております。おしゃべりや遊び、いろいろな活動を通じておしゃべりができるようになってほしいと、毎日たくさんのお話を伺っています。楽しんで活動してほしいと、毎日たくさんのお話を伺っています。楽しんで活動してほしいと、毎日たくさんのお話を伺っています。
29	事業所の支援に満足していますか。	19					・いつもおしゃべりができるようになります。 ・先生方の丁寧な対応が心で、相談しやすいと感じています。 ・ごどももよろしくお話しします。	・得意の「生きる力」をつけていくことを目指し「今、大切なこと」を言葉にしていきます。支援内容についてご家庭、ご意見などあれば、ご相談いただきたく存じます。今後ともお子様ごとの成長の為に活動として頑張らせていただきます。よろしくお話しします。
非常時等の対応								
満足度								

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	ピッリノー	公表日	2025年2月14日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	5	2	<ul style="list-style-type: none"> 活動の姿にどのような違いと感じることもあるが、公園・体育館などを活用している。 運動機材は良いと感じるときもあるが、公園に行ったり、体育館を借りたり、工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、室内遊具を工夫しながら、安全に活用していく。
	2	6	1	<ul style="list-style-type: none"> 放課時にはパパママやすぐのこともあるが、療育時間は多人数で取り組むことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後は個別活動も充実させていきたいこともあり、より専門性を高めるためにもスタッフのスキルアップを図っていきたい。
	3	5	2	<ul style="list-style-type: none"> 関係があるが、重い等が必要な児童の利用はない。 曲がらぬ設備があるが、転ばないように外側を高いたり、高さや重さなどは、ように気を付けている。 関係があるが、重い等が必要な児童の利用はない。 	<ul style="list-style-type: none"> 重さやかかとを調整している子どもがいるので、危険性を伝えるとともに手帳につながらないように気を付けていきたい。
	4	6	1	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの動きに合わせて環境を整える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 際限なく増えているが、子どもたちの成長に合わせ、環境を整える必要がある。日々の気づきを大事にしていきたい。
	5	7		<ul style="list-style-type: none"> 特養したり、クルーグランドたりでできる環境があるが、事務所内ヘルプサインを出していく子どもが多く、入室のルールを改めて使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事務所に入るルールとして、事務所内にスタッフがいること、入室の許可を得ることとしているが、慣れてくると勝手に出入りする様子がある。消音ルールを徹底していきたい。
	6	5	2	<ul style="list-style-type: none"> 日々の会議の中で互いに、改善点を話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフ間の連携を良くし、どの職員も意見を発言できる環境を作りたい。
	7	7		<ul style="list-style-type: none"> 等別連携に目を返し、把握し、改善につなげている。 評価の結果を必ず全員で確認し、意見交換ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価結果が、課題や改善点を出し、全員が意識して改善していることができていくように徹底していきたい。
	8	7		<ul style="list-style-type: none"> 指導員により、個別の家庭がある。 毎日家庭と打ち合わせに時間をかけている。その中で課題を伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談できる体制を今後作ってほしい。
	9	1	6	<ul style="list-style-type: none"> 第三者による外部評価はない。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、より質の高い支援体制を作っていくためにも必要とされていると聞かれる。
	10	5	2	<ul style="list-style-type: none"> オンライン研修や、日々の支援会議の中でも研修の機会を作っている。 事務所内で研修はあるが、他に研修は行っていないことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の意識の向上のためにも研修の機会を増やしていきたい。
業務改善	11	7	7	<ul style="list-style-type: none"> 支援プログラムについて、定期的に話し合っている。 支援プログラムについて話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援プログラムについて話し合っているが、定期的に話し合っている。 支援プログラムについて話し合っているが、定期的に話し合っている。
	12	7	7	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの業務の進捗なども定期的に確認させている。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援プログラムについて話し合っているが、定期的に話し合っている。
	13	7	7	<ul style="list-style-type: none"> 計画をする前に親子を話し合い、計画の進捗を確認された後、後継計画を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員が同一に話し合い計画を作成することが重要だが、業務の個体上は必要ないこともある。必ず原案には目を通し、共通理解できるように徹底していきたい。
	14	7	7	<ul style="list-style-type: none"> 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援計画はいつでも確認することができると、各職員所にも工夫している。今後、支援計画が十分に活用されるようにしていきたい。
	15	5	2	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの通称行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマットにアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントが「ママ」にならなっていない現状があるため、初めからしっかりと確認できるようにしていきたい。
	16	7		<ul style="list-style-type: none"> 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」の適切な及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援計画についてフォーマットからの意見を反映させながら、具体的な内容についても確認していきたい。
	17	7		<ul style="list-style-type: none"> 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援会議の中で関係者全員と話し合っており、案を出し合いながら決定しており、徹底していきたい。
	18	7		<ul style="list-style-type: none"> 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 集団活動の内容は子どもたちの現状と興味を話し合いながら決定しており、今後継続していきたい。
適切な支援					

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	・ 下校後、送迎等の時間を、個別活動の時間がうまく確保できない状況がある。	・ 個別活動の時間の確保が難しいのが現状であるが、時間の確保を旨の計画をしていきたい。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・ 毎日の支援計画はほとんどのことがないが、曜日によって、連携ができていないと思う、ひとりのスタッフに負担がかからないよう協力して実施していきたい。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	6	1	・ 翌日の支援会議の中で前日の振り返りをおこなっており、細かい部分まで振り返りを実施している。今後の支援の方向性や運営活動内容の改善点などにもつなげていけるようにしたい。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・ 個別活動の記録は、なるべく詳しく記録することを徹底しており、支援後の感想や考察を記録することでその日の支援に活かしたいと思う。また、それぞれの個人の記録には細かく書き取り場かを記載しており、支援の方法と方向性を計画するために適切な資料となっている。今後手配していきたい。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・ 定期的モニタリングだけでなく、親の意向や子供の発達と共に保護者と話し合い、見直しをすることも必要。適切な連絡、相談が不可欠と思われる。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を適宜組み合わせ支援を行っているか。	7		・ 計画に盛り込んであるのでそれに沿って支援の計画をしていきたい。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	7		・ 活動の中には、自分で決めて取り組むような状況の多岐取り入れられている。 ・ おやつを頼む物形にするなど、本人の意思が反映されるよう工夫している。
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	7		・ 児童発達支援事業所が参加している。 ・ 児童発達支援事業所に出向して、現状と課題、保護者からの情報なども把握している。
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	・ 教育委員会のスタッフの、学校の先生が、児童相談所のスタッフの方などなるべく多くの関係者と連携し、情報交換できるように努力している。今後連携していきたい。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2	・ 担任の先生によることもあるが、送迎申し送りなどの対応にて行えることもある。 ・ 学校に子どもを預けに行くこと、先生も出てきてくださることが多く、連絡調整はできている。
29	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有や相互理解に努めているか。	4	3	・ 就学前の情報は相談支援員さんからの情報提供が多く、保育園等からの情報は少ない。お話ししてもなかなか提供していただけない現状があるが、提供してほしい。
30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		・ 児童発達支援事業所によりお伝えすることには、移行期間の担当者が会議に参加させていただくこともあり、本人の意向や課題、現状をお伝えしていきたいと思う。
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	・ 国庫研修等、相談できる資料はあるが、度々は難しく、国庫研修やしていただければありがたいと思っている。努力したい。
32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこども活動する機会があるか。	1	6	・ 児童によっては、放課後児童クラブ等との連携を助けてはいるが、断られることも多く、難しいのが現状。今後連携を強めるなどしながら、交流する機会やイベント行事などを探していきたい。
33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	・ 日々の更新にむけての準備が難しいのが現状である。今後調整しながら、参加していきたい。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・ 全スタッフが全保護者といつても話ができる関係づくりをしたい。また、どんなことでもいつでも話してもらえる雰囲気を作りたい。また、保護者との関係を良好にしていきたい。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・ 地域で保護者等の研修や勉強会、児童発達支援センターや口頭、ポスター掲示などで提供しているが、広くいまいなるような研修をしていきたい。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・ 契約時には書面にて説明している。利用者の負担については、書面でも伝えていく。また、どんなことでもいつでも話してもらえる雰囲気を作りたい。また、保護者との関係を良好にしていきたい。
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・ モニタリングを実施を行い、最善の計画が立てられるようにしていきたい。
38	「放課後等デイサービス計画」を明示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・ 計画書と一緒に確認しながら説明をするようにしているが、今後子供保護者からの同意が得られるようにしていきたい。
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要の助言と支援を行っているか。	6	1	・ 保護者の悩み等、じっくり聞くことはもちろんだが、スタッフの一人が聞いて途中で休憩、助言することはない。また、面談時に保護者から相談があった場合は、スタッフがみんなで見守ることにして、面談と支援を行うこともある。

提供

関係機関や保護者との連携

保護者の説明等

40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいたい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・父兄の会はないが、保護者同士のつながりはある様子。 ・以前はイベントを企画していたが、コロナ禍以降はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前のようには保護者懇話会等の開催の希望もあっていることから、どのような形で開催がかわせられるかの話し合っているという見方。
41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備することや、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	7	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情・意見箱などを設置している。 	
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	7	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の予定表などを事前に毎月発行している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等での発信には十分な配慮が必要と重んじられる。今後の発信に方法を模索し進めていきたい。
43	個人情報情報の取扱いに十分留意しているか。	7	7	<ul style="list-style-type: none"> ・十分留意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報等の取扱いについては慎重に取り扱うようスタッフ間で共有し意識を高めている。
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	7	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で伝えられない子どもさんには、運動紙や送迎帳、その日の様子など印刷のものを手にお伝えしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉での説明が難しい子どもさんもあるので、それぞれに配慮の方法を模索しながら、伝えていきたい。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスやカンタモンをはじめ、行事を行う場合に外権の方にお願いしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・応援してくださる地域の方にお世話になっていますが、以前のようには法人関係の祭り等を依頼できず、事業の普及さんの理解とご協力をお願いしている。
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	7	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルはいつでも見られるように掲示してある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを確認するものも、日ごとと空け持ちになっていることもあり、期を定めての訓練が必要であるため、計画的に行っている。
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	7	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は毎月1回に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な避難訓練とともに、日ごから計画的に自主避難などの機会を取ってみたい。
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	7	<ul style="list-style-type: none"> ・現在利用しているアレルギーのお子さんの利用はないが、発熱時にアレルギー一覧表を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの取組をもとにアクセスメントに移動していくようにしているが、発熱時の取組等については把握できていない部分もあり、保護者に取組を促すような取組を進めたい。
49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・現在利用しているアレルギーのお子さんの利用はないが、発熱時にアレルギー一覧表を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在利用の児童に食物アレルギーの子はいないが、今後の情報提供をお願いしていくこととする。
50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	7	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用での対応となるので、安全に実行するよう指導を徹底していきたい。また、発熱時の対応と集まる場所等が決められ、すぐに整備するよう心がけていきたい。
51	こどもの安全確保に関して、家族などの連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	7	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの安全確保に関して、家族などの連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発熱時にお伝えしているが、日ごとと忘れがちなため、専任の初めに徹底説明していくことが必要と思われる。
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	7	7	<ul style="list-style-type: none"> ・メモ書き程度でもよいと指導してもらっているが、なるべくくくごん書を書いて残しておくように指導している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットは感染症等に誘発しているが、つい小さい中、口頭で済ませてしまったり発生もあるようなので、実際に話し合いで共有できるように徹底していきたい。
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を講じているか。	7	7	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の中で要々研修を行っている。 ・事業所内にて研修あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人で全体研修を推進し、各県出席することとしている。また、日々の交流会議の中でも度々事例研修を行っている。また、施設内の良い従業員自発的な研修、話しやすさで理解作りを心がけている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	7	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束を必要とする利用者は今のところはいないが、やむを得ず連絡となる場合、保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修と申し合わせをしており、スタッフが途中で脱落することは少ない。また、身体的拘束を必要としないような支援の方法がとれるよう事前に保護者と相談し計画に反映し計画に反映している。

非常時等の対応

事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	放課後等デイサービス ピンクリーノ		
○保護者評価実施期間	2025年1月10日	～	2025年1月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数)
○従業員評価実施期間	2025年1月10日	～	2025年1月17日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にしている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・療育活動プログラムが充実してきている。 ・保護者との信頼関係の構築が強化されている。	・支援会議の充実を図ることで、スタッフの意識の向上につながっている。活動の目的、ねらいをスタッフ間で共有し取り組むことで、より良い支援活動となっている。 ・スタッフ全員が、利用児とはもちろん保護者(家族)との信頼関係を保つためにも寄り添った支援を心がけている。	・活動予定表を活用すること、毎日の支援会議での活発な意見交換ができる環境をさらに充実させることで、より効果的な療育活動を計画、実施していきたい。 ・利用児や家族の声をたくさん聞くことができ、安心して相談でき、安心して通所していただけるよう努力していきたい。 ・いつでも相談できる場所と時間を確保していきたい。
2		・毎日の支援会議を充実させることで、それぞれの療育支援に対する意識の高まりが見られる。	・支援会議の中で支援の方法や方向性など相談することができ、経験豊富なスタッフからの事例紹介や助言等もより良いとみられることから、今後も継続して充実させていきたい。
3	・スタッフの業務に対する意識の高まりが見られる。		

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域とのつながりが薄い。	・地域での活動が少なくなっている。以前に開催していた祭り等もコロナ禍からできなくなっている。	・以前に開催していた祭りを復活させてほしいとのこと要望もいただいているので、法人内で再開に向けて相談、計画していききたい。また、地域の催し等情報を収集し、積極的に参加していきたい。
2	・専門職員の配置が難しい。	・専門職員(理学療法士・言語聴覚士・心理士等)の全日配置が難しい状況のため、研修をしたスタッフが対応するが、より質のいい療育活動を実施するために人材の確保が必要。	・より専門性を活かしたプログラムの実施をしていけるように、専門職人員を補充していく必要がある。
3	・長時間の療育活動時間の確保が難しい。	・利用の児童・生徒の平均学年が上がってきているため、下校時間も遅くなり、十分な療育時間の確保が難しくなってきている。	・短時間でも集中してできる療育活動を計画し実施していく。また、保護者と延長支援の相談をしながら、療育時間の確保をしていきたい。